

宮崎県 在京経営者会議だより

発行責任者／熊村 剛幸 〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 学校法人メイ・ウシヤマ学園内
TEL 03-3408-5020／FAX 03-3423-6092



会長挨拶

宮崎県在京経営者会議 会長 熊村 剛幸

—みやざき連合の触媒に—

2025年に入り、米国の「トランプ関税」をめぐる各国間の対立など、世界の分断はさらに深まっています。その中で、AI（人工知能）革命などの技術革新は急速に進み、未知の可能性も確実に広がっています。分断と未知の不安定な時代を迎え、宮崎県在京経営者会議は「みやざき」を共通項とした大連合の触媒の役割を果たそうと考えています。

1月の賀詞交歓会・ビジネスフォーラムで講演された池田宜永・都城市長は、「ヒトの気（やる気）」「モノの気（熱気）」「マチの気（良い空気）」を引き出すことで、ふるさと納税日本一の自治体をつくり上げたと強調されました。われわれも宮崎を愛する人々の「気」を結びつけ、化学反応を起こすこ

とで、新たな力を生み出していくことができるはずです。

触媒の試みのひとつとして、「宮崎の偉人再発見」シリーズの第2弾では、「ビタミンの父」といわれる高木兼寛を取り上げます。ビジネスフォーラムの特別枠として、宮崎県や宮崎市の関係団体のほか、欣交会、三州倶楽部の皆様にも呼びかけて、「みやざき」を共通項とした連合を構築しようと考えています。

われわれが築き上げてきた「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」では、これまで以上に宮崎県や各市町村、宮崎県酒造組合など関係団体との連携を強めていきます。「ビジネスフォーラム」や「みやざき観光文化検定」では、各自治体のほか、宮崎商工会議所など経済団体との結びつきも深めていくつもりです。こうした活動を進めていくために、規約改正などで組織の活性化を進めていきます。

宮崎県在京経営者会議は、「みやざき」の力を結集して「行動する団体」に脱皮していこうとしています。会員の皆様のご支援をお願いいたします。



知事挨拶

宮崎県知事 河野 俊嗣

宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、首都圏における本県出身者との交流や文化・観光・物産のPRなど、県政の推進に温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震をはじめ、全国で災害が相次ぐ年となりました。本県でも、8月の日向灘を震源とする最大震度6弱の地震、台風第10号による竜巻、さらに10月の線状降水帯の発生などにより、各地に大きな被害が生じました。県においては、引き続き、更なる県土強化や地域防災力の向上など、ハード・ソフト一体となった防災対策に万全を期してまいります。

一方で、パリオリンピックにおける本県ゆかりの選手の活躍や、ひなたサンマリスタジアム宮崎での日向坂46による「ひなたフェス2024」の開催など、県民に元気をもたらす明るい話題も相次ぎました。

さらに、交通・物流網の面では、国際定期便「ソウル線」の増便や「台北線」の再開が実現し、東九州自動車道「南郷～奈留」間の新規事業化、九州中央自動車道「平底～蔵田」間の計画段階評価の着手、都城志布志道路の今年度中の全線開通など、本県経済の更なる活性化や国内外との交流促進につながる基盤が着々と整ってきています。

県では、引き続き、今年度から本格展開している「3つの日本一挑戦プロジェクト」＝「子ども・若者」「グリーン成長」「スポーツ観光」を、着実に推進してまいります。

今後とも、皆様の声に真摯に耳を傾けながら、安心と希望、そして活力あふれる宮崎県づくりに全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、宮崎県在京経営者会議の更なる御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶といたします。

活動報告

令和6年度 第26回定期総会

令和6年6月28日（金）六本木ヒルズハリウッドプラザで開催されました。総会の部は、令和5年度の事業報告並びに収支決算の承認、令和6年度の事業計画並びに予算案が承認され、役員改選の議事についても全て可決されました。

懇親会の部では、ご来賓の宮崎県知事河野俊嗣様よりビデオメッセージでご挨拶を賜り、宮崎県東京事務所長の長谷川武様より乾杯のご発声をいただき、和やかに参加者相互の交流・親睦を深めました。



ビジネスフォーラム

○第17回ビジネスフォーラム

3月25日、甲斐宗之高千穂町長に「世界遺産 高千穂郷・椎葉山地域の魅力」と題してお話いただきました。5町村、2万人の経営を意識され、世界農業遺産、山腹用水路、釜炒り茶、棚田キャンプ、大学との連携、観光インフラ、国土強靱化、国際協力やG7、企業版ふるさと納税、高千穂観光大使、未来へ繋ぐ人材育成等幅広い内容かつ大変示唆に富む素晴らしい内容に参加者は多いに示唆を受けました。



○第18回ビジネスフォーラム

5月24日、松坂千尋氏（元NHK専務理事）に「放送界に身を置いて」と題してお話いただきました。長年にわたるNHKでのご経験をもとに、災害報道と減災や防災のための実践、技術に対する絶えざる学び、コア事業への取り組み、先送りを排する経営判断の大事さ等ビジネス展開上の大変示唆深いお話をいただきました。



○第19回ビジネスフォーラム

9月20日、ハリウッド美容専門学校校長であり、ハリウッド大学院大学教授のジェニー牛山さんに「レモン・人生100年時代の健康経営」と題してお話いただきました。ジェニー牛山氏は、当会山中名誉会長の奥様でもあり、日本有数の美容家として活躍されております。

今回はジェニー先生の専門の一つであるレモンを活用した健康経営について、経営者の健康維持・促進の視点から話していただき、我々経営者として大いに参考になりました。



○第20回ビジネスフォーラム

11月1日、日南市長の高橋透氏に「変革する日南市をさらに前へ」と題してお話いただきました。

変革の著しい日南市がさらに前進していく多様なプランについて、示唆に富むお話をしていただきました。

「オール日南」で明るい未来を創る4つの戦略を基盤に人とまちがキラリと輝く元気な日南市を築いていく市長の構想は会社経営にも大変参考になりました。



○第21回ビジネスフォーラム

1月31日、令和7年在京経営者会議賀詞交換会に併設して、都城市長の池田宜永氏に「結果が出る自治体経営～都城フィロソフィーを基軸として～」と題してお話をいただきました。

ふるさと納税で注目を集め、そこから様々な仕掛けにより都城市を深化・発展させて行く池田市長の手腕、特に行政に民間経営の発想と方法論を取り入れた都城フィロソフィーの具体的な中身を多く語っていただきました。

市の職員がまず人として成長する…当たり前のことが出来る人間育成が、引いては市政の発展を可能にする…我々がつい忘れがちな社員へのあり方を思い出させていただく有意義な時間となりました。



◆U50 活動状況

若手世代が繋がる!「みやざきファンミーティング」開催

6月22日、ハリウッド大学院大学にて、U50 部会 第2回イベント「みやざきファンミーティング」を開催しました!

宮崎県出身の大学生や若手社会人が集まり、親睦を深めることを目的としたものです。宮崎出身の若手タレントもゲストにお迎えし、会場は大いに盛り上がりしました!

参加者からは、「同世代の宮崎出身者と繋がることができて嬉しい!」「東京にいながら、宮崎の温かさを感じることができた」といった声が寄せられました。

また、今回のイベントをきっかけに、将来経営者を目指す若者が、U50 部会の新メンバーとして加わってくれました。新たな仲間を迎え、U50 部会はさらにパワーアップ!

今後も、若手世代の交流を促進し、宮崎県の未来を担う人材育成に貢献していきます。



◆宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会

令和6年10月12日(土)に「焼酎の会(第21回)」を六本木のハリウッド大学院大学にて開催しました。再開後、3年連続の開催で、約270名の県内外の皆様にご参加いただきました。県知事も参加のもと、宮崎県酒造組合、各市町村(宮崎市、都城市、延岡市、日南市、門川町)、JA宮崎経済連など諸団体や企業からご協賛いただき、郷土料理(宮崎焼酎、宮崎牛、地頭鶏、餃子、県産野菜、魚(カンパチ、カツオ)など)を堪能した大盛況の会となりました。



◆法律相談会

法律相談部会では、2月4日午前10時~午後0時@日南市役所、2月5日午前9時~午後4時30分~@都城市役所で無料法律相談を行ってきました。

日南市役所では、職員向けの法律相談として、都城市役所では、市民向けの法律相談として、日頃、それぞれが抱えている不安、疑問、トラブルについて、相談対応を行いました。

皆様にも大変ご満足いただき、充実した活動となりました。

◆令和7年新年賀詞交歓会

令和7年1月31日(金)に六本木ヒルズハリウッドプラザで開催されました。今年のビジネスフォーラムの部では、都城市長池田宜永様に「結果が出る自治体経営~都城フィロソフィを基軸として~」のご講演をいただきました。

賀詞交歓会の部では山中祥弘名誉会長、熊村剛幸会長の挨拶に始まり、来賓のご挨拶を宮崎県知事、河野俊嗣様よりビデオメッセージにて宮崎県の現状と今後の経済成長についてのお話とともにご挨拶いただきました。

懇親会では会員同士はもとより宮崎懇話会の皆さんとの相互交流も深めておられました。



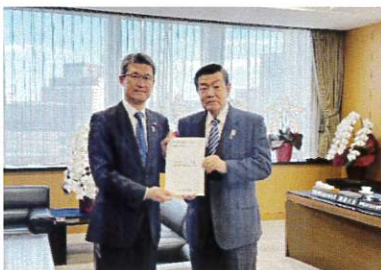
宮崎県東京事務所の活動概況

宮崎県在京経営者会議の皆様には、日頃から宮崎県政の推進につきまして温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

東京事務所は、首都圏における宮崎県の総合窓口として、様々な業務に取り組んでおり、その活動をいくつか紹介させていただきます。

【国への提案・要望活動】

本県では、県政の重要課題に対応するため、毎年国に対し、施策の提案や制度の創設、財政支援などを求めて要望活動を実施しています。知事が長を務める全国知事会地方税財政常任委員会や全国高速道路建設協議会の要望活動についても連絡調整・情報収集を行っています。



▶要望活動



▶全国高速道路建設協議会総会

【企業誘致】

産業振興と地域経済の活性化に大きな効果が期待できることから、本県への積極的な企業誘致活動に取り組んでいます。特に、九州全体で国内外から、多くの半導体関連企業の立地が進むなど注目を集めており、本県も積極的な誘致活動を展開しているところです。また、みやざき企業立地セミナー・交流会を東京で開催し、多くの企業から参加をいただきました。



▶みやざき企業立地セミナー



▶交流会

【首都圏へ向けた情報発信】

主に首都圏に向けた宮崎県のPRのため、ホームページや、X、Facebook 及び Instagram などの SNS を活用した情報発信を行っています。フォロワー数も X において 19,477 人（R7.1.30 現在）を数えるなど、順調に増加しています。



HP



X



Facebook



Instagram

【首都圏からの観光誘客】

首都圏から宮崎への観光誘客のため、観光パンフレットの配布、旅行会社やメディア向けの観光素材紹介、PR イベントの実施などの取組を行っています。



【農林水産物等の販売拡大とPR】

本県の農林水産物・食品等の販路開拓や販売促進、認知度向上を図るため、百貨店やスーパーでの催事をはじめ、ホテルやレストランでのメニューフェアの実施、県内事業者とバイヤーとのマッチング、各種イベントでのPRに取り組んでいます。また、新宿のアンテナショップKONNEでの販促PR、本県とご縁のある企業での社内販売や宮崎ゆかり店での旬の食材フェアの開催等により食を通じた宮崎ファンの拡大に努めています。



▶宮崎牛の魅力をコンシェルジュにPR

編集後記

令和6年度も「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」をはじめ、ビジネスフォーラム等、各イベントに多くの方ご参加をいただき、皆様の笑顔と温かい心にふれることができました。これからもより多くの方に宮崎のよさを知っていただきますよう努めてまいります。原稿を寄せてくださった皆様に心より御礼申し上げます。（広報部）